

「サイエンス・パラダイムの潮流」

「現代における科学の状況はどうなっているのだろうか。」序章の冒頭の一節であるが、この問いに対して8人の知識人が新たなサイエンスの展開を解説している。本書は、メディアスケープフォーラムのサイエンスパラダイムの記録を再構成したものである。

野路啓一氏の第1章「思想としての科学」では、近代の科学が当初の科学とかけ離れていったことを再認識させてくれる。第2章「生命と人工生命の間」では、佐倉統氏が人工生命について紹介してい

る。その中で、鳥の集団の飛行をコンピュータで再現するBOID(鳥もどきを意味する合成語)がジュラシックパークやライオンキングなどの映画のシーンで使われているプログラムに取り入れられ、実際の鳥の集団の複雑な行動形態をうまく再現しているという。あらためて映画を見直して確認してみたい。第6章「人間の情報処理」(安西祐一郎氏)も興味深い。人間がいか

かにスキルを習得するかとか、デザインの分かりやすさを決めるものという見出しが続く。単に2次元表示から3次元表示にすれば分かりやすさが増すわけでは

ないことは、Mac OS8を使ったときに感じられたが、そのことがここにも書かれている。認知科学と呼ばれるなじみが薄い分野が、どんなに楽しいものなのかということを見せてくれるだろう。



コンピュータ時代と科学の進展

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

パソコン販売初期の秋葉原舞台裏

「秋葉原バックギャモン」

学生時代にマイクロコンピュータが出現し、社会に出た頃にパーソナルコンピュータが現れた。そんな時代に秋葉原の販売員として過ごした著者が、その頃を面白おかしく描いている。

70年代後半から80年代にかけて、オーディオ、家電製品を扱っていた多くの秋葉原の電器店が、パソコンを扱い始めた頃の話は面白い。登場人物は仮名になっているが、かなりリアルである。

というのも、私は実際に学生の頃、本書に出てくる猫獅子電気のすぐ近くで、とある電器店がパソコン販売に進出したときにアルバイトをやっていたことがある。もちろん、多分に誇張はあるが、大まかな

ところであらざる状況を経験している。まさしくこれは、オーディオマニアのテーマパーク、パソコンフリークの聖地、秋葉原の舞台裏を描いた本なのだ。

オーディオ売り場のマニアックな店員さんやノルマにあくせくし周りの同僚にも敵意のオーラを振りまく店員、軽いノリしたメーカーからのヘルパーさんと、さまざまな人間が顧客と駆け引きを繰り返す。変な店員がいれば理不尽な客もいて、ストレスも溜まる。そして、精神的に傷ついたり、人間関係に疲れて去っていく者も多い。

そんな秋葉原を知ることができる。この本を見て、店員に優しくなれるか、もっと値切る方法を見出すかは読者次第である。



バーチャル世界が舞台の学園サスペンス

「プラトン学園」

インターネットの3Dチャットシステムなどは、架空都市の中を利用者の感情移入するキャラクターが歩き回ったり、誰かと会話を交わしたりするもので、のめり込むとインターネット上の仮想空間に迷い込んだ感じである。SF映画「トータルリコール」では現実と記憶が混濁して判別が付かなくなった状況をスリリングに描いていた。もし、コンピュータの仮想世界と現実の区別が付かなくなったらどうなるのだろうか。そんな状況を学園

サスペンスに取り入れた小説が本書だ。この小説で使われるパソコン通信での仮想世界「プラトン学園」は主人公の教師の勤める学校であり、そこでの出来事と仮想世界での出来事が次第に入り混じって、読者を混乱させていく。このような多分に作者が意図した効果により、これは現実か、パソコンの中の出来事かと、我々は主人公とともに虚実入り混じった世界を漂うことになる。謎の人物や渦巻く陰謀、うごめく怪しげな組織といった要素が盛り込まれ、混乱のままクライマックスへと向かう。バーチャルな世界に没入する者なら、よりこのサスペンスを実感できるだろう。これで、「プラトン学園」のロールプレイングゲームでもあれば、読者が主人公に成り代わってしまいそうでゾツとする。



理想的「管理職」のバイブル

「ドグパートの極秘 マネジメントハンドブック」

日本では月刊MacPowerに連載される人気コミック「ディルパート」の毒舌犬ドグパートが指南する、マネージャーのためのハンドブック。テクノロジーを駆使し、世界征服を狙う驚異の犬ドグパートがマネジメントについて詳しく解説した本であるが、もちろんビジネス本ではない。とはいえ、世界征服を狙う、または部下を掌握し、大いにただ働きをさせたいと思う管理職にとってはバイブルである……かもしれない。毒のある文章にコミックを織り交ぜ、管理職を風刺する。会社を舞台としたコミックは、ディルパートや同僚、ツノ頭のボス（まさしく上司）が中心で、ドグパートの出番は少ない。しかし、その分、

ドグパートは本文で本領を發揮している。鋭い切り口で管理手法を説明されると、会社の上司が実際にこの本を読んで行動しているのではないかと疑いたくなる。解説される上司の意味不明な行動は、どんな会社でも日常に見られる風景であるからだ。

この本は96年10月に原著が発行されているが、そのころから上司の性格が変わったのなら、彼はすでに原書を読んでいるだろう。今年の夏頃からなら、翻訳された本書を読んだかもしれない。本屋で、上司がこの本を手にしていたら気を付けよう。もしそうになったら、部下はこの本で対策を練るのが上策だろう。



スコット・アダムス 著 / 山崎 理仁 訳
アスキー 発行
214ページ
本体1600円 + 税
ISBN 4-7561-1295-1

パソコンで社会復帰を手助けする

「パソコンボランティア」

パソコンボランティアという言葉を初めて聞いた。パソコンとボランティアがどうも結び付かなかったのだ。

一方、以前から、ハンディキャッパーの人々がパソコンを活用して社会参加を果たしていることは耳にしていた。手先が利かない方が、顎や鼻、口を使ってパソコンを操作したり、盲目の方が

音声合成装置を使って、ディスプレイなしにパソコンを使いこなしたりする記事などを何度か読んでいた。

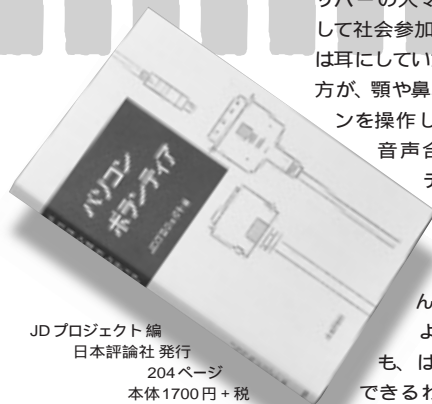
よく考えてみれば、誰もが、はなからそんなことができるわけがないはずで、健康者が協力して、おのおのハンディキャッパーの方に合っ

た適切な方法でパソコンを操作できるように作り上げたということが分かる。

そんなときに、介助を手伝う仕事がパソコンボランティアのようだ。本書では、パソコンボランティアとは何か、どんなことをするのかを現場の人々が語っている。

パソコンを操作する能力を持つ人が、助けを求めている人にその能力を分けてあげている。しかも、その能力を必要としている方が実は多いのである。あなたが簡単に設定できたかもしれないインターネットのダイヤルアップ接続を目をつぶってできるだろうか。健康者ならたやすい操作でも、難しい人がいることを理解したい。

そして、自分たちができる範囲で手を差し伸べよう。その力でハンディキャッパーの社会参加が可能になることもあるという事実を本書は教えてくれている。



JDプロジェクト 編
日本評論社 発行
204ページ
本体1700円 + 税
ISBN 4-535-56046-3

すべてのウェブ制作者必携!

「Web デザイン入門編」

リンダ・ワインマンは言わずと知れたプロフェッショナルのビジュアルデザイナーである。彼女が、基本的なウェブページのビジュアルデザインの入門書を書いている。この本が優れた本であることは目次を見れば分かっていただけるはずだ。小さく軽いグラフィックスを作る、パレットカラーを究める、16進数を究める、ウェブのためのスキミングテクニック、ウェブの文字デザインと、基本的ではあるが、通常の入門書では簡単に解説しがちで曖昧のまま理解したつもりでいる内容が盛り込まれている。しかし、その内容は、静止画

像の代表的な形式のJPEGとGIFはどう使い分けるか。マシンやWWWブラウザによって異なるカラーパレットに左右されずに、どのWWWブラウザでも変わらない色使いをする方法など、プロの仕事をするためのテクニックを伝授している。常にWWWブラウザの利用者を考え、ビジュアルデザイナーのイメージを変えることなく伝える方法を示す姿勢はさすがである。アマチュアウェブデザイナーが参考にしても、すぐにすばらしい結果を生む実践的な内容であり、プロを目指す方は、ぜひともプロの仕事とはこんなものなのだと思って欲しい。もちろん、ウェブページの発注を依頼する企業の担

当者なら、頼んだ仕事のプロのレベルにあるかどうかを見極める参考にもなるであろう。



リンダ・ワインマン 著
エムティエヌコーポレーション 発行
インプレス販売 発売
294ページ
本体4700円 + 税
ISBN 4-8443-5456-6



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp